

<記入される前に必ずお読みください>

実績報告記入要領 産業廃棄物処分業<最終処分業>

- この報告書は、久留米市内の施設で行った産業廃棄物の処理実績を報告していただくものです。
- 産業廃棄物と特別管理産業廃棄物は、別々の用紙で報告してください。
また、報告書名は、産業廃棄物または特別管理産業廃棄物のうち該当する方を囲んでください。
- 単位は t または m³ のいずれかを選択してください。
記載の際は、t または m³ の該当する方を ○ 、または該当しない方に二重取り消し線を引いてください。
- 小数点は必ず明瞭に記入してください。
また、小数点以下の数字は小さく記入してください。（記入例 1, 234. ⁵⁶）
- **排出場所が市外の場合でも必ず記入してください。**
- 報告書が1枚で足りない場合は、必要な枚数をコピーして使用してください。
その場合、余白にページ数を記入してください。
- **処理実績が全く無い場合も「実績なし」と記入のうえ、必ず報告ください。**
- **前年度中に廃止となった場合でも、報告の対象となります。”
廃止前までの実績を報告ください。**

実績報告書

- 実績は、産業廃棄物の種類、排出場所及び処分方法ごとに記入ください。
- 「産業廃棄物の種類」欄に、別表の「産業廃棄物の名称（例）」を参考にして廃棄物の具体的な名称を（ ）内に記入してください。
- 処分を受託した産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等が含まれる場合は、「産業廃棄物の種類」の欄にその旨を記載してください。
- 「業種」欄には、別表の「排出事業者の業種名」欄に掲げる業種から当てはまる業種名を記入してください。
- 「排出場所の住所」欄には、事業所や工場等、実際に排出された場所の住所を記入してください。
- 「処分場所の住所」欄には、実際に最終処分された処分場等の住所を記入してください。

☆ 報告者欄の許可番号は、久留米市長許可の許可番号を記入してください。

<記入される前に必ずお読みください>

残余容量報告書記入要領

<最終処分業>

目的（最終処分基準省令第1条第2項第19条関係）

- 廃棄物の最終処分場の維持管理において、廃棄物の最終処分場の残余容量について年1回以上の頻度で把握を行うとともに、その記録を作成し、保存することを定めています。

記録及び閲覧（法第15条の2の4、規則第12条の7の4第1号口、規則第12条の7の5第6号ハ）

- 廃棄物の最終処分場の残余容量を算出した年月日及びその結果について、廃棄物の最終処分場の維持管理に関して記録し、また、最終処分場に備え置き、利害関係を有する者の求めに応じ閲覧させなければならないことを定めています。

残余容量の算定方法（最終処分場残余容量算定マニュアル）

- 残余容量の算定に係る具体的な方法については、「最終処分場残余容量算定マニュアル」を参考とすること。
- 残余容量の算定の方法は、現地測量によることを原則とするが、現地測量により最終処分場の構造が明らかになっている場合には、埋立処分の進捗の度合いを標尺等を用いて把握し、その結果を利用して平均平断面法、平均横断面法またはメッシュ法の手法により算定しても差し支えないものとする。
- なお、過去の実績をもとに埋立重量から容量を求める体積換算係数をあらかじめ算出している場合には、埋立重量から当該係数を用いて換算する方法により算定しても差し支えないものとする。
- 残余容量の算定は、原則として各年度の年度末時点において行うこと。

記載内容

- 単位は m^2 及び m^3 で記入してください。
- 「許可番号」欄に、産業廃棄物処分業許可証に記載されている許可番号を記入してください。
- 「産業廃棄物の種類」欄には、事業範囲の該当する産業廃棄物を記入してください。
- 処分した産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等が含まれる場合は、「産業廃棄物の種類」の欄にその旨を記載してください。
- 「施設の設置許可番号」欄には、廃掃法第15条に定められた施設として設置許可を請けた許可番号を記入してください。
- 「残余容量」欄には、実際に最終処分できる容量を記入してください。
- 「残余容量の測定方法」の欄は、算定の根拠となる方法を○で囲んでください。
- 「残余容量算定の具体的な方法」については、測定方法に基づく算定の具体的な方法を記入してください。

1. 産業廃棄物

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の名称(例)	排出事業者の業種名
燃え殻	燃え殻	
汚泥(有機性汚泥)	下水汚泥、ビルピット汚泥	
汚泥(無機性汚泥)	建設汚泥	
廃油	廃油	
廃酸	具体的な名称を記入してください	
廃アルカリ	具体的な名称を記入してください	
廃プラスチック類	廃プラスチック類	
紙くず	裁断くず、印刷くず、製本くず	建設業 パルプ・紙・紙加工品製造業 新聞業 出版業 製本業 印刷物加工業
木くず	建設廃木材、おがくず、廃チップ、パーク類	建設業 木材・木製品製造業 家具製造業 パルプ製造業
繊維くず	木綿くず、羊毛くず、建設繊維くず	建設業 繊維工業(衣服その他の繊維品製造業を除く)
動植物性残さ	あめかす、のりかす、醸造かす、発酵かす、 魚・獣のあら、野菜くず	食料品製造業 飲料・飼料製造業 医薬品製造業 香料製造業
動物系固形不要物	動物系固形不要物	
ゴムくず	ゴムくず	
金属くず	金属くず	
ガラスくず及び陶磁器くず	ガラスくず及び陶磁器くず	
鋳さい	鋳さい	
がれき類	がれき類	
動物のふん尿	家畜のふん尿	畜産農業
動物の死体	家畜の死体	畜産農業
ばいじん	ばいじん	
上記の産業廃棄物を処分 するため処理したもの	具体的な名称を記入してください	
2種類以上の廃棄物の 混合物	具体的な名称を記入してください	混合物に紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物のふん尿または動物の死体が含まれている場合は業種名を記入してください

年度 産業廃棄物 ・ 特別管理産業廃棄物 の処分実績報告書

－ 最終処分業 －

久留米市長 様

報 告 者	許可番号
	住所
	氏名 <small>(法人にあっては名称 及び代表者の氏名)</small>
	電話番号

産業廃棄物の種類 種類 (廃棄物の名称)	排出事業者または中間処理業者		最 終 処 分		
	業 種	氏名または名称 排出場所の住所	最終処分の委託を 受けた量	処 分 方 法 処 分 場 所	処 分 量
()			t		t
			m ³		m ³
()			t		t
			m ³		m ³
()			t		t
			m ³		m ³
()			t		t
			m ³		m ³

- 備考 1 この報告書は、当該年度の前年度中に処理した産業廃棄物の量を、当該年度6月30日までに提出すること。
 2 単位は t または m³ の該当する方を ○、または該当しない方に二重取り消し線を引くこと。
 3 「産業廃棄物の種類」欄には、別表の「産業廃棄物の名称(例)」を参考に廃棄物の具体的な名称を()内に記入のこと。
 4 処分を受託した産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等が含まれる場合は、「産業廃棄物の種類」の欄に
 5 「排出事業者」の「業種」欄には、別表の「排出事業者の業種名」欄に掲げる業種名を記載のこと。
 6 実績がない場合は、「実績なし」と記入し提出すること。
 7 年度途中で廃止となった場合は廃止前までの実績を報告すること。

令和 年 月 日

年度 **産業廃棄物**・**特別管理産業廃棄物** の処分実績報告書

— 最終処分業 —

久留米市長 様

報 告 者	許可番号	11240123456
	住所	久留米市城南町15番地3
	氏名	〇〇産業 株式会社
	(法人にあつては名称 及び代表者の氏名)	代表取締役 久留米 太郎
	電話番号	〇〇〇-〇〇〇〇

産業廃棄物の種類 (廃棄物の名称)	排出事業者または中間処理業者		最終処分の委託を受けた量	最終処分	
	業種	氏名または名称		処分方法	処分量
がれき類 (コンクリート塊)	建設業	(株)〇〇土木	300 t	安定型埋立	300 t
	久留米市城南町〇番地〇			久留米市〇〇町××××番地	
ガラスくず等 (セメント瓦)	建設業	(株)〇〇建設	200 t	安定型埋立	200 t
	小郡市〇〇町〇丁目〇番〇号			久留米市〇〇町××××番地	
					m ³
					m ³

- 備考 1 この報告書は、当該年度の前年度中に処理した産業廃棄物の量を、当該年度6月30日までに提出すること。
 2 単位は t または m³ の該当する方を ○、または該当しない方に二重取り消し線を引くこと。
 3 「産業廃棄物の種類」欄には、別表の「産業廃棄物の名称(例)」を参考に廃棄物の具体的な名称を()内に記入のこと。
 4 処分を受託した産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等が含まれる場合は、「産業廃棄物の種類」の欄に
 5 「排出事業者」の「業種」欄には、別表の「排出事業者の業種名」欄に掲げる業種名を記載のこと。
 6 実績がない場合は、「実績なし」と記入し提出すること。

年度 産業廃棄物最終処分場における残余容量報告書

令和 年 月 日

久留米市長 様

報 告 者	住 所
	氏 名 <small>(法人にあつては名称 及び代表者の氏名)</small>
	電 話 番 号

許 可 番 号	
産 業 廃 棄 物 の 種 類	
施 設 の 設 置 許 可 番 号	
埋 立 地 の 総 面 積	m ²
埋 立 地 の 容 量	m ³
埋 立 地 の 残 余 面 積	m ²
埋 立 地 の 残 余 容 量	m ³
埋 立 開 始 年 月	年 月
埋 立 終 了 (予 定) 年 月	年 月
残 余 容 量 の 測 定 方 法	現地測量 (実測による) 平均断面法 平均横断面法 メッシュ法 その他 ()
備 考	